

令和5年度特許調査実践研修 実施報告

令和6年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)では、令和5年度 大阪工業大学と連携して、特許調査実践研修をオンラインにて実施しました。本研修では、特許出願前から特許取得、権利活用に至るまでに必要となる効率的な特許調査の手法や特許審査基準に基づいた特許性判断について、講義だけでなく、実習、グループディスカッションを通じて学習いただきました。また、研修内容の疑問や日常業務の特許調査等に関する悩みを講師に個別相談できる「お悩み相談室」を開設し、受講生に活用いただきました。

1. 研修の概要		
(1) 日程	8月29日～8月31日(3日間)	
(2) 開催方法	オンライン	
(3) 参加人数	20名	
(4) 講師	4名	
2. アンケート結果 (回収率:95%)		
(1) 研修全体として	人数	割合
・非常に有意義であった	5名	26%
・有意義であった	14名	74%
・どちらとも言えない	0名	0%
・有意義でなかった	0名	0%
・とても有意義でなかった	0名	0%
・無回答	1名	—
(2) 主な意見・要望	<p>・実際にどのような検索を受講者の方や先生方がされているかを知ることができたこと、検索に関する知識を知ることができたことが良かったです。</p> <p>・審査基準を踏まえての説明であり、忘れていたことなど改めて思い出して良かったです。また、実務経験を経て理解できるようにもなっていたので、知識が定着すると思いました。</p> <p>・進歩性の審査基準を意識した検索を行う際に使用する「検索式を立て方」「式を立てるにあたっての考え方」について学習することができました。特に審査基準や特許分類について、そして普段はあまり使用していない検索スキルについても教えてもらうことができ、大変有意義であった。</p> <p>・実際の自分のスキルの現状を知り、受講者の考え方や先生方のアドバイスを聞くことができ、大いに勉強になりました。</p> <p>・実際に調査したケースについて討論し、また講評をいただいたことで、気付くことが多数ありました。</p> <p>・独学では難しいのでセミナーを受講してインデックスを使用した調査方法が具体的にわかり良かった。</p>	